

# 衆議院小選挙区選出議員選挙公報

(第3区)

新潟県選挙管理委員会

## 安全安心を取り戻し、 地方が輝く時代を！

さいとう洋明は、我が国の地方自治・消防を担当する  
総務大臣政務官として全力で働きました！

### さいとう洋明が取り組んだのは 「地方が輝く施策」。

- ①「地域社会再生事業」を作って福祉やインフラ整備のために地方が自由に使える予算を確保。
- ②「コロナ対策地方創生補助交付金」で財政基盤の弱い地方自治体のコロナ対策を支援。
- ③頻発する豪雨災害に備え「緊急浸透推進事業」を作って地方の河川管理を国が支援。

#### プロフィール

生年月日 昭和51(1976)年12月6日(44歳、辰年)  
 村上市(当時青井村) 平林生まれ  
 地元小中、中家高校、大学・大学院を経て国家公務員

内閣府(公正取引委員会)を退職して選挙に立候補。  
 現在に至る。子どもは3人。  
 ふるさとのため日本のため、捨て身で頑張ります！



## さいとう洋明の政策提言

**国民を守る！ 外交防衛・防災減災**

- 拉致問題にあらゆる資源を動員し最優先で取り組む
- 面談を共有する日米憲法の連携を強化
- 頻発する自然災害にハードソフト両面で立ち向かう

**地方を活性化**

**福祉とデジタルと重点投資で地方創生！**

- 高齢者の移動や社会活動を新技術で支援
- 保育・幼児教育・医療・介護の公的価格を抜本的に見直し
- 新産業やデータセンターの誘致でデジタル技術で

**「成長する日本」を再び！**

- 「成長か分岐か」という不毛な議論に終止符を打ち、分厚い中間層・地方を再生
- 成長するため、まっしかり分給交付金や奨学金を成長助成の自然発生的に財源確保

**コロナを収束させる！**

- 疫学・医療人材確保
- 経口治療薬・国産ワクチンの開発
- ワクチン接種説明書による飲食・観光振興
- 予約不要の無料検査の拡大

**「コロナを克服、生活を再建！」**

地域医療を支え、大切な命を守る！  
 経済を立て直し、暮らしを再生！

今、日本は新型コロナウイルス感染症と気候変動による災害など未曾有の危機に直面しています。  
 コロナ禍克服のために、一刻も早くワクチン接種を進め、医療提供体制を拡充し、国産治療薬と国産ワクチンの早期実用化に向けて全力を尽くします！  
 あわせて製造業、飲食業、観光関連産業などの経済の再生、防災減災など、日常生活を取り戻し、国民の命と暮らしを守るため、総力をあげて対策を講じます！



**さいとう**  
 ひろあき  
**洋明**  
 (44歳)

# 前へ!

○新発田市在住 家族：妻、長女、長男○東京大学法  
 学部中退○参議院議員公設秘書など○2002年 参  
 議院新潟県補欠選挙で初当選、5年務める○2009  
 年 衆議院新潟県第3区から初当選○2010年 法務  
 大臣政務官○2014年 衆議院選挙で2期目の小選  
 挙区当選○2017年 50票差で3期目の小選挙区当  
 選○2019年 立憲民主党国対委員長代理

<http://www.t-kuroiwa.jp>

**新発田事務所**  
 〒957-0003 新発田市中央2-4-21  
 TEL 0254-31-7070 FAX 0254-31-7070

**村上事務所**  
 〒952-0002 村上 南町2-5-1-19  
 TEL 0254-96-1758 FAX 0254-96-1756

**阿賀町事務所**  
 〒954-0004 阿賀町東町1-13-13  
 TEL/FAX 0254-92-2550(携帯)

**立憲民主党**

### 暮らしを支える 3本柱

子育て支援の大きな柱として高校のみならず大学の授業料無償化(私大は国公  
 立大学程度の前倒し、18歳までの医療費窓口負担無料化を実現します。)

**①教育の無償化**

**②農業再生**

- 1) 農業者戸別所得補償の拡充  
 総生産額が削減された農家へ生産費を現金交付する戸別所得補償。  
 一部自給型補助金は軽減反対と主張しますが、必ずや復活させて見せます。
- 2) 種上げ補助の拡大  
 コロナ禍によるコメ需要落ち込みで下値した米価を持ち直す時に最低でも生  
 産10万円の政府が買い上げます(種上げ前額=10万円で予算250億円)

**③介護士・保育士(幼稚園教諭)の公務員化**

介護士・保育士は少子高齢化社会でも最も重要な職種であるにもかかわらず賃  
 金・公務員化による知識改善を望み、人員不足を解消する事で若後と子育ての安  
 心、地方経済活性化の両面を実現します。

### コロナ対策 3つの約束

**①強い医療体制の確立**  
 政府は公立・公営病院の取組を推進、新潟3区内の公立・公営病院も7つから3  
 つへと削減する計画です。この計画を撤回し、コロナ対策は公立・公営病院に  
 中核を据えてもらいます。

**②予防の徹底**  
 早期の国産ワクチンの開発、PCR検査の無料化でコロナの波を抑え込みます。

**③給付金・経済支援策の拡充**  
 緊急事態宣言期間により増給益が出なくなる飲食店を地味とすすべての事業  
 者の増給益給付金、また経済的ダメージを軽減し個人への定額給付金を再支  
 給します。コロナ収束後を見越していたGoToトラベルモードなどの経済支援策  
 を速やかに実施します。

私はコロナという未曾有の険壁を乗り越え、「新たな通常の生活」「生き  
 活きとした社会」を創る、即ちわが国を「前へ」進め、この度の衆議院選挙  
 に立候補致しました。

この間削り続けてきた医療予算を拡充し、新たな医療資源をコロナに投入  
 します。国産ワクチンの早期開発、PCR検査の無料化でコロナの波を抑え込  
 みます。一方、経済的に負った傷に対しては様々な給付金で応急処置を致します。  
 ステージを前へ進める為に高校・大学授業料の無料化、子ども医療費負担  
 の無償化による子育て支援、戸別所得補償制度復活による農業再生・介護士・  
 保育士の公務員化による老後・子育ての安心、地方経済活性化を進め、参  
 事ります。

通常国会閉会から今日まで新潟3区内約1万3000軒のお宅を歩いて参  
 りました。3区的生活を誰よりも体感している私に皆様の「ご支援、どうぞよろ  
 しく」をお願いします。



**黒岩**  
 たかひろ

(この選挙公報の掲載順序は、くじによって決めました。)